

# ゆっパル

第6号

男女共同参画社会推進情報誌

一男女共同参画推進のページです

「ゆっパル」とはこの地域の方言で“結ぶ”、また「パル」には英語で“仲間・友達”という意味があり、「一人ひとりの想いが結びついて仲間をつくる」という想いが込められています。

## 「両親学級」参加者のその後について紹介します。

健康推進課では、平成4年から赤ちゃんの出産を控えた夫婦のために「両親学級」事業を行っています。

この事業の主な目的は、「夫婦が、妊娠・出産・育児の大変さを知り、育児への夫の参加で妻の負担を軽くし、それとともに父親や母親の役割を育てる」ことにあります。夫婦がいっしょに参加することによって、

- ①妊婦の喜びや悩み、また不安などを共有し、夫と話し合えるように、
  - ②沐浴やだっこなどの疑似体験を通して、夫にも生まれたばかりの赤ちゃんの保育ができるように、
  - ③これに参加した夫婦同士で妊娠・出産・育児についての情報交換や、交流ができるように、
- なります。



ことしの2月、「両親学級」に参加した河野志麻子さん、孔規さん、4月に誕生した礼佳ちゃんご一家を訪問して、今の生活を聞いてみました。

## ☆ 河野志麻子さん、孔規さん、礼佳ちゃん 一家

十和田湖町出身の志麻子さん(26歳)と神奈川県横浜市出身の孔規さん(34歳)は、結婚して1年半。両親学級を2月5日に受講し、4月には礼佳ちゃんが誕生。現在は2人の職場である十和田第一病院の院内託児所に日中預けています。(普段は、サポートしてくれるかたがそばにいないので、病気のときなどはふたりで交替して看病している)



## 河野志麻子さんへの質問

- Q 両親学級への参加のきっかけはなんですか？
- A 孔規さんが行きたいと言ったので受講してみました。
- Q 受講するときの期待と感想は？
- A 仕事柄(看護師)知っていることが多く、期待はしていなかったのですが、一生懸命な孔規さんの姿がとてかわいかったです。
- Q 赤ちゃんが生まれたとき、どんな気持ちでしたか？
- A すごくうれしかったです。おなかから出てきて自分で手足を動かしているのを見てとても感動しました。
- Q 育児について孔規さんと話し合っていますか？
- A よく話しているし、毎日楽しみながら2人で育児をしています。
- Q 育児について不安やイライラ感がありますか？
- A 夜も起きないし、手がかからないので、別にイライラ感はないですね。
- Q いろいろな情報は、主にだれから？
- A 職場の、同じ年ごろの子どもがいる友達と情報交換をしています。
- Q どんなお母さん・家族になりたいと思いますか？
- A お母さんはいつも明るく、仲の良い、楽しい家族になりたいです。
- Q 最後に、孔規さんへ普段感じていることを一言で。
- A 何でもやってくれるので、とっても感謝しています。



今回登場の河野さん一家は、核家族でありながら、父親の孔規さんが自ら進んで子育てに関わり、楽しみながら2人で協力して子育てをしていました。志麻子さんの明るさもありますが、とっても明るく温かい家庭でした。時代とともにパートナーの関係が少しずつ変化してきていますが、子育ても少しずつ変化しています。赤ちゃんが健やかに育つには、お母さんとお父さんの明るく絶妙なコンビネーションが必要なように思いました。



## 河野孔規さんへの質問

- Q 両親学級への参加のきっかけはなんですか？
- A 保健センターのカレンダーを見て、ぜひ受講したいと思いました。
- Q 受講するとき、どんなことを期待しましたか？
- A 子どもが生まれる前に、育児についての情報が欲しかったですね。
- Q どんなことをしましたか？感想は？
- A 妊婦疑似体験、沐浴の仕方、オムツや肌着の替え方、赤ちゃんの心音を聞くなどの体験をしました。人形の赤ちゃんだったので、実感がわかなかったけれど、自分にできるのはこのくらいしかできないのかと改めて思いました。
- Q その中で、一番印象に残ったことは？
- A 妊婦の疑似体験ができたこと。おなかが大きくなると、こんなに行動が制限され、つらいものだということがわかりました。
- Q 赤ちゃんが生まれたとき、どんな気持ちでしたか？
- A 生まれるまでは不安でしたが、女の子がほしかったのですごくうれしかったです。
- Q 赤ちゃんが生まれて、受講したことが役立っていますか？
- A 沐浴やオムツ替えなどとても役に立っています。
- Q 育児について志麻子さんと話し合っていますか？
- A 話し合っています。育児はすごく楽しくやっています。
- Q 育児について不安やイライラ感がありますか？
- A 今のところ、育児についての不安やイライラ感はないですね。
- Q どんなお父さん・家族になりたいと思いますか？
- A 今はわからないけれど、楽しく明るい家族になればと思います。
- Q 最後に、志麻子さんへ普段感じていることを一言で。
- A 育児に、仕事に、よくがんばっていると思います。



問い合わせ先 広報交流女性課 (☎05111内線158)

## 十和田市男女共同参画社会推進事業活動報告

- ◎懇話会
  - 市民12人により構成(男女同数6人)
  - 懇話会委員の任期は、平成16年2月より2年間で、男女共同参画社会の推進状況を逐次報告。これに対し、意見や提言をいただいている。
  - これまでの検討内容
    - 平成13年度～15年度までの十和田市男女共同参画社会推進事業の前期実施計画進捗状況調査内容について検討している。細部の調査内容については、専門部会で検討して、中間報告と提言をいただいている。
    - これまでの主な意見
      - ・現在の推進計画、実施計画は分かりづらく、事業数が多すぎる。

- ・このままの状態では市民に公表しても伝わりにくい。
- ・テーマを絞り、何年かの計画を策定し、それぞれの段階で重点的に実施してはどうか。
- ・講座などについては開催日時も工夫し、呼び込み型のイベントのほかに、出前型のPRもしていけないとなかなか浸透しない。
- ◎検討委員会
  - 市職員の課長級45人で構成
    - 十和田市の男女共同参画社会推進に係る政策を立案する場である。そのほか、毎年実施計画の進み具合をチェックする機能がある。
  - ◎専門部会
    - 市職員の中から、十和田市男女共同参画社会検討委員会会長が指名した45人により構成され、主に次のことを行う。

- ・男女共同参画に関する施策の調査や検討
- ・十和田市男女共同参画社会検討委員会からゆだねられた事項についての検討
- ・平成17年度～19年度を実施期間とした「中期実施計画(案)」の作成
- ・男女共同参画の意識改革および環境整備など
- 開催状況
  - ・第1回 6月23日
  - ・第2回 8月4日
  - ・第3回 11月1日
 この期間中に、4つのグループで3～4回の検討会を実施
- 検討内容
  - 庁内の周知・推進方法、進捗状況調査の方法、平成17年度～19年度中期実施計画(案)の中間報告など

## 十和田市女性団体連絡協議会

女性団体相互の連絡強調をはかり、女性の地位向上と福祉の増進を図ることを目的とします。

そして、男女共同参画社会を目指すために、関連するフォーラムや研修会に参加し、あるいは開催し、意識の向上を図っています。

(構成団体)	アグリ・レディース十和田
女性会議十和田支部	東北電力 暮らしと電気の会
国際ソロプチミスト十和田	十和田市食生活改善推進委員会
十和田市交通安全母の会	十和田市農業協同組合女性部
十和田市女性の船の会	十和田市連合婦人会
十和田市母子寡婦福祉会	十和田地区更生保護女性会
十和田商工会議所女性会	